

令和六年三月二十四日

第三十八回

田辺春季俳句大会

田辺市俳句連盟

田辺市中央公民館

目次

【一般の部】

教育委員会賞・連盟賞・秀逸賞

3

選者特選賞

4
～
6

入選作品一覧

7
～
11

【小学生・中学生の部】

連盟賞・努力賞

13
～
14

入選作品一覧

15
～
20

公募句【一般の部】入賞者

選者（敬称略）

桐本 美恵子

中野 静子

川口 修

尾崎 均

樫本 正巳

教育委員会賞

逆あがり子は春風を回しけり

白浜町

山本 容子

連盟賞

冬ぬくし叱ってくれる妻の居て

下万呂

樫本 正巳

秀逸賞

無住寺に光ほどけて梅一輪

滋賀県守山市

みさを

百鳥の声つぶらなる春障子

新庄町

松本 武千代

サイパンの石が遺骨や墓洗ふ

岡山県津山市

岡田 邦男

トンネルに名前の付きて山笑ふ

上野

那須 眞千代

退屈もしあわせのうち春炬燵

白浜町

那須 重子

搗き上げて香り丸める蓬餅

みなべ町

山内 恵子

選者特選賞

桐本 美恵子 選

春風に初めての孫触れさせる

上秋津

久保 久美子

冬ぬくし叱ってくれる妻の居て

下万呂

檜本 正巳

自愛てふ言葉噛みしめ初ざくら

白浜町

中野 静子

中野 静子 選

無住寺に光ほどけて梅一輪

滋賀県守山市

みさを

冬ぬくし叱ってくれる妻の居て

下万呂

檜本 正巳

自由てふ裏の孤独や花八手

岡山県津山市

岡田 邦男

川口 修 選

指先でのばすパステル風光る

滋賀県長浜市

野口 成人

山椒の芽ほどの小さき志

新庄町

松本 武千代

陽炎へる島の石垣磯着干す

新万

前田 紀代子

尾崎 均 選

初句会賞賛受けし無季語の句

中万呂

桑原 康宏

逆あがり子は春風を回しけり

白浜町

山本 容子

サイパンの石が遺骨や墓洗ふ

岡山県津山市

岡田 邦男

樫本 正巳 選

卒業の子らに大空ひとつづつ

みなべ町

武田 恵子

百鳥の声つぶらなる春障子

新庄町

松本 武千代

円陣の十二神将春の燭

白浜町

中野 静子

入選 桐本 美恵子 選

放牛の舌で巻き込む春の草	北野 恵美子	水鳥の水脈広がれり夕茜	山中 晴美
震へつつ貫はれて行く子猫かな	北野 恵美子	摩崖仏つらら鎧て立たれけり	堀 康代
病む妻へ子ら夜なへして千羽鶴	野口 成人	波吼ゆる島や群れ咲く野水仙	堀 康代
色足袋に母継ぎ当つる一葉忌	小野 道山	風と来て風と去りゆく寒念仏	堀 康代
病みし夫へお福の面で鬼やらひ	出口 雅子	白木蓮天に真向う矜持かな	畑上 美代
春宵やかゆいかゆいの飛んでゆけ	出口 雅子	逝きし人看取りし人も雛の間に	那須 眞千代
流れゆく野火の煙のかそけき香	出口 雅子	床の間に無事の一字や初点前	みさを
厄祓ふ神鼓一打の初社	武田 恵子	逆あがり子は春風を回しけり	山本 容子
イヤリング付けて見ようかあたたかく	池田 昌子	春泥を突き進みたる三輪車	山本 容子
野火守や逡巡の火をなだめつつ	初山 紀子	退屈もしあわせのうち春炬燵	那須 重子
海金剛攀ぢる波濤や春一番	樫本 正巳	おつとりとマンション猫の恋知らず	堀 あや子
針の穴見えて通らぬ春障子	腰前 八重子	修二会いま声明闇を占めにけり	中野 静子
千金の刻に纏まり日向ぼこ	石垣 実男	お守りは考の表札実南天	樫本 正巳
黙禱の声に始まる初句会	島本 美紀	あちこちが軋む地球や霜柱	岡田 邦男
機関車の坐る公園冬すみれ	山中 晴美	サイパンの石が遺骨や墓洗ふ	岡田 邦男

入選 中野 静子 選

ふる里の記憶の空や犬ふぐり	吾 亦紅	お礼にと日付入りたる寒卵	那須 眞千代
放牛の舌で巻き込む春の草	北野 惠美子	一鍬の春の光を鋤ひてをり	山本 容子
九十を寿ぎくれし花吹雪	谷中 節子	逆あがり子は春風を回しけり	山本 容子
墨壺を満たし大工の初仕事	小野 道山	冬日射す古い手帳の折り目かな	久保 久美子
厄祓ふ神鼓一打の初社	武田 惠子	気まぐれな風神のまま野火走る	松下 弘
面一本余る氣勢や寒稽古	武田 惠子	きさらぎの遺影にともす燭ひとつ	那須 重子
蒼穹に朴芽吹きをり忠魂碑	武田 惠子	言の葉の迷路樂しや春灯	堀 あや子
水に浮く椿に白の加はりぬ	川口 修	轉を連れて古道の渡しかな	松本 武千代
寒行の読経へ祈り重ねけり	檜本 正巳	遠目には雲と戯れ凧揚ぐる	浜岡 美哉子
春めくや僧もオカリナ演奏す	山西 峰子	南端の末黒は海へ傾れ込む	藤原 加代子
公園は母子寮の跡冬すみれ	島本 美紀	見覚えの人のお百度冴返る	中島 走吟
たんぼばや幼馴染の逝きたまふ	片倉 充子	搗き上げて香り丸める蓬餅	山内 恵子
煮凝りの白濁の目の飛び出せる	山中 晴美	余すなく在所包みし春霞	山内 恵子
滝凍てて風にざわめく木々のこゑ	堀 康代	沈黙といふ主張あり懐手	岡田 邦男
白木蓮天に真向う矜持かな	畑上 美代	小夜しぐれ縁ひもとく百日忌	大津 久子

入選 川口修選

銀色の月ついてくる寒念佛	米澤 百	潮垢離に荒らぶる神馬浦祭	久保 年生
雨けぶる紀淡海峡春隣	羽賀 明	災害に備へ 汲み置く寒の水	那須 眞千代
唐臼の汲みて返せし春の水	小野 道山	トンネルに名前の付きて山笑ふ	那須 眞千代
浜風の背にやはらかき初戎	武田 恵子	茎立や帆船見える紀伊水道	道 修一
恋の猫今夜もお泊り忍び足	長尾 則夫	冬薔薇手向けし今も声聞こゆ	土井 明子
童謡を声高らかに春よ来い	池田 昌子	初御空日の丸映えて母校かな	木村 閑夫
落し湯の音ぬるみけりおぼろ月	榎本 正巳	蒼天へ長竿撓ふ和布刈舟	中野 静子
春寒やここも空家か又ここも	腰前 八重子	包丁の音も楽しや春大根	永井 富美子
切干しの日に日にちぢむ様が好き	山西 峰子	野火が野火風が風追ふ野焼きかな	松下 弘
釣針も半紙に包み針供養	島本 美紀	放ち飼ふチャボのつまづく春疾風	松下 弘
先駆けの桜一本峽動く	片倉 充子	墨壺を満たし大工の初仕事	小野 道山
老練の僧の説法梅二月	坂井 マチ子	退屈もしあわせのうち春炬燵	那須 重子
虚貝春立つ浜に集めけり	宮内 信子	電子辞書引かぬ日はなし去年今年	榎本 正巳
初空へ嬰の泣声全開す	堀 康代	蓑虫の糸に纏れのなかりけり	山内 恵子
寒波来る刃のごとき波迫り	堀 康代	自由てふ裏の孤独や花八手	岡田 邦男

入選 尾崎均選

震へつつ貫はれて行く子猫かな	北野 恵美子	寒鰯と見ゆ閃光や海の闇	松本 武千代
新任の猫駅長や木の芽風	小野 道山	日矢といふスポットライト露の臺	松本 武千代
焼芋二本「おかえり」と置手紙	武田 恵子	百鳥の声つぶらなる春障子	松本 武千代
地球儀のことりと春のゐる気配	武田 恵子	寒の川やせて一人を渡しけり	米澤 百
春づくや提灯程の花灯	松井 孝恵	日向ぼこしておれねどもひなたぼこ	米澤 百
縄飛びの園児光と風と跳ぶ	腰前 八重子	舞ふ度に空を広げて春の鳶	松下 弘
幼児のフオークで突くしじみ汁	山西 峰子	割引券そろりと出して四日かな	山本 隆之
黙祷の声に始まる初句会	島本 美紀	ランドセルぶちまけてをり入学児	松本 武千代
先駆けの桜一本峽動く	片倉 充子	春の宵晶子に習え子を増やせ	道 修一
機関車の坐る公園冬すみれ	山中 晴美	引き締まる矢音すつきりの始	浜岡 美哉子
初空へ嬰の泣声全開す	堀 康代	猫柳岸边に水の光をり	土井 明子
トンネルに名前の付きて山笑ふ	那須 眞千代	父帰りバレンタインのチョコ一つ	吉岡 京子
無住寺に光ほどけて梅一輪	みさを	骨密度僅かに余力青き踏む	藤原 加代子
春泥を突き進みたる三輪車	山本 容子	搗き上げて香り丸める蓬餅	山内 恵子
と見かう見して観梅す紀勢線	桐本 美恵子	登校時見送る母や桃の花	松場 一

入選 檉本 正巳 選

鳥帰る戦火なきよう故国の地	磯 勢子	退屈もしあわせのうち春炬燵	那須 重子
干大根くぐりて話相手来る	川口 修	梅散りて空ぽっかりと空きにけり	堀 あや子
虎落笛身がまえている夜更けかな	山西 峰子	囀を連れて古道の渡しかな	松本 武千代
冬籠するための本買ひに出る	島本 美紀	遠目には雲と戯れ凧揚ぐる	浜岡 美哉子
水鳥の水脈広がれり夕茜	山中 晴美	白は清楚赤は朗らかシクラメン	福角 美恵子
ふと思ふ余生如何程追儼の夜	坂井 マチ子	老いてこそ知ることのあり木の芽和	中野 静子
降圧剤ころころ逃ぐる二月尽	尾崎 均	いがみ炊く浦の慣ひの年用意	藤原 加代子
掌に月日あふるる年の豆	堀 康代	骨密度僅かに余力青き踏む	藤原 加代子
白詰草ことば探しの道すがら	愛洲 晶代	春雨や相合傘をためらはず	中島 走吟
トンネルに名前の付きて山笑ふ	那須 眞千代	ランドセル子猫を抱いて帰りけり	前田 紀代子
せせらぎの音を太らせ春の水	山本 容子	搗き上げて香り丸める蓬餅	山内 恵子
一鍬の春の光を鋤ひてをり	山本 容子	ものの芽の後押し雨つり来し	山内 恵子
逆あがり子は春風を回しけり	山本 容子	あちこちが軋む地球や霜柱	岡田 邦男
如月や若きテノール澄みわたる	久保 久美子	暮夜のぬめりを引き摺りて	岡田 邦男
舞ふ度に空を広げて春の鳶	松下 弘	白木蓮苞解く闇のやはらかし	中野 静子

公募句【小学生・中学生の部】入賞者

※学年は令和五年度のものです。

選者（敬称略）

中野 静子

川口 修

堀 あや子

宮内 信子

連盟賞【小学生の部】

こんにちはちよこんと出てくるつくしたち

近野小三年

金田 りく

努力賞【小学生の部】

しだれうめにわいっぱいにおい香り

堅下南小二年

佐藤 美妃

曾祖母の植えた椿が咲いている

田辺東部小六年

福田 健太

あふれだすミモザの黄色家の庭

芳養小三年

那須 奏

連盟賞【中学生の部】

しゃぼん玉青空うつし消えてった

衣笠中一年

近藤 葵

妹の成長願う桃の花

新庄中一年

遠藤 夏嘉

春風に背中おされてたすき継ぐ

新庄中一年

上舎 芽愛

努力賞【中学生の部】

落ち葉ふみ鳴るあの音が大好きだ

衣笠中一年

中嶋 彩華

窓の外飛んでる桜みてる猫

新庄中一年

大江 沙耶

蠟梅や鼻にふんわり部活中

新庄中二年

神崎 優奈

成長をみんなで祝おう七五三

田辺中二年

中田 陽菜

信念と責任持って進級す

田辺中二年

堀木 朝日

週に二度鍋が登場冬が来た

田辺中二年

正垣 ひかり

春の風新たな一歩踏み出そう

田辺中二年

横山 輝依

入選【小学生の部】中野 静子 選

冬の夜ライトアップの大とりい	本宮小三年	真砂 太一	入学式桜も笑った気がした日	田東小六年	松本 奈々
さつまいも顔がほっこりあつあつ	本宮小五年	寺岡 蒼空	新学き妹つれて早歩き	芳養小二年	田中 たくみ
しだれうめにわいっぱいいい香り	堅下南小二年	佐藤 美妃	しゃぼん玉空にむかつて出発だ	芳養小三年	川口 りな
こんにはちよこんと出てくるつくしたち	近野小三年	金田 りく	あふれだすミモザの黄色家の庭	芳養小三年	那須 奏
卒業生桜まうち中ふり返る	近野小三年	前 アイラ	新学期くつ箱を見てドキドキだ	芳養小五年	山根 三奈
遠くからさくらと風のダンス見る	近野小四年	大村 洗翔	桜咲く心はずんで中学へ	芳養小六年	濱口 花菜
帰り道さくらの花びら浴び歩く	近野小五年	前 ハヤタ	春の朝一年生が笑っている	会津小五年	大西 琉奈
雨ふつて紫陽花綺麗に光っている	田東小四年	尾崎 良輔	春の音しずかな音がきこえるよ	会津小五年	尾崎 皇貴
いちごがり宝石みたい赤いつぶ	田東小四年	釣本 龍佑	シャボン玉中をのぞくと夢の世界	会津小五年	鈴木 志歩
さくらの木出会いをいつも見守るよ	田東小五年	岩本 夢羽	桜散る後一年の通学路	会津小五年	中 詩音
いわし雲天にのぼつて泳いでく	田東小五年	内田 礼美	春の竹透き通るほど朝日照る	会津小五年	西濱 輝真
桜咲きこの一年のスタートだ	田東小五年	鈴木 亜月	ひとはみななにかにはげみはつぎくら	会津小五年	森 雲関
昼下がり陽炎ゆらめく坂の上	田東小五年	田中 翔大	春風に背中を押され旅立つ日	新二小六年	奥本 陽士
入学式兄の背中を見つめてた	田東小六年	小西 董	桜咲く最後の校歌旅立つ日	新二小六年	那須 絢菜
曾祖母の植えた椿が咲いている	田東小六年	福田 健太	体育館最後の校歌花ぐもり	新二小六年	山本 果歩

入選【小学生の部】川口修選

まんかいの小学校のチューリップ	本宮小三年	木村 心優	新しい春の日ざしをむかえよう	芳養小六年	片山 葵彩
うみがめに乗っていきたいスローへ	堅下南小四年	佐藤 広季	卒業だあともう少し悲しいな	芳養小六年	坂井 裕奈
しだれうめにわいつばいにいい香り	堅下南小二年	佐藤 美妃	桜ちる学び舎を出るさびしさよ	芳養小六年	中 由里奈
こんにはちよこんと出てくるつくしたち	近野小三年	金田 りく	卒業や六年間の思い出を	芳養小六年	根岸 晃基
はえてくるズンズンズンたけのこは	近野小四年	辰己 環太郎	ねがいごと雪におもいをにぎりしめ	芳養小六年	畑口 千乃
雪がまうまどからのぞく銀世界	田東小五年	島野 大	進学だ新生活がはじまりだ	芳養小六年	山本 星亜
先ぱいと別れ悲しみ春惜しむ	田東小五年	羽竹 紗希	はつくしよん今年もつらい花粉症	会津小五年	池浦 亜美
燃えあがるキャンプファイヤーと笑い声	田東小六年	澤越 奈子	あたらしいいちねんせいもなかまいり	会津小五年	小川 茉莉
曾祖母の植えた椿が咲いている	田東小六年	福田 健太	シャボン玉中をのぞくと夢の世界	会津小五年	鈴木 志歩
ふうせんにたねをしのばせしゅっぱつだ	芳養小一年	那須 凱生	おとうとがくろいかばんで入学だ	会津小五年	林 陽音
もうかんべん山からながれるすぎかふん	芳養小二年	中本 ひかり	雪の日に熱いコアを飲みました	新二小四年	中嶋 大樹
なわとびでできるわざぶえうれしいな	芳養小二年	山本 りく	竹馬にのれないけれどがんばるぞ	新二小五年	遠藤 季人
だんだんと春の足音聞こえるよ	芳養小三年	津呂 昂汰	桜咲く最後の校歌旅立つ日	新二小六年	那須 絢菜
あふれだすミモザの黄色家の庭	芳養小三年	なす 奏	卒業式失敗の過去ふりかえる	新二小六年	深瀬 杏奈
春キャベツとても甘くておいしいな	芳養小五年	東山 暖	六年間終わりを告げる桜の木	新二小六年	南 光舞千

入選【小学生の部】堀 あや子 選

見上げると空一面の夏の星	本宮小三年	川辺 沙帆	塾帰りオリオン発見気が弾む	田東小五年	森下 悠斗
チューリップ赤青きいろとまる足	本宮小三年	木村 将人	ツバメの巢中ではヒナが鳴いている	田東小六年	梅本 歩夢
あすの夜花火大会ワクワクす	本宮小三年	森 そう太	入学式兄の背中を見つめてた	田東小六年	小西 董
友だちとうたつておどるひな祭り	本宮小四年	齊藤 光里	黄金虫天に照らされ背輝く	田東小六年	田中 珀
「われわれは」うちゆう人声せんぷうき	本宮小四年	茶木 健三郎	下ろしたて制服を着て晴れ舞台	田東小六年	筒井 琳子
ピンク色えがおにさせるコスモスよ	本宮小五年	内野 さき	曾祖母の植えた椿が咲いている	田東小六年	福田 健太
モゾモゾとすいかひと口種をはく	本宮小五年	谷瀬 陽来	さつまいもおいしくなあれおまじない	芳養小一年	柴田 美奈
もみじのはてのひらみたいおもしろい	近野小一年	正田 のの	はるがきたうみにいきたいつりたいな	芳養小二年	鎗光 奏音
こんにはちよこんと出てくるつくしたち	近野小三年	金田 りく	タンポポに息をふきかけとばすのだ	芳養小三年	坂原 ゆうと
こおろぎの鳴き声聞いてリラックス	田東小四年	榎本 彩花	あふれだすミモザの黄色家の庭	芳養小三年	那須 奏
じやりじやりといつかふみたいしもばしら	田東小四年	玉置 仁美	雛祭りぼくは毎年蚊帳の外	芳養小六年	羽山 悠央
いちごがり宝石みたい赤いつぶ	田東小四年	釣本 龍佑	クラスがえワクワクするな春の風	会津小五年	崎口 茉愛
ひらひらと桜まいちる青い空	田東小五年	小山 愛夢	卒業だ未来の一步を切り開く	新二小六年	浅井 太陽
一歩ずつすくすく育つ七五三	田東小五年	坂本 虹奏	桜咲く最後の校歌旅立つ日	新二小六年	那須 絢菜
雪合戦砂もまじってジャリジャリだ	田東小五年	宮崎 木蓮	卒業に思い出つまつたランドセル	新二小六年	森山 莉乃

入選【小学生の部】 宮内 信子 選

緑の葉見上げた先はひまわりだ	本宮小三年	川辺 沙帆	この甘さ口に広がるさつまいも	田東小五年	田村 美華
冬の夜ライトアップの大とりい	本宮小三年	真砂 太一	ふみしめる桜まい散る通学路	田東小六年	澤越 奈子
さつまいも顔がほっこりあつあつ	本宮小五年	寺岡 蒼空	入学式桜も笑った気がした日	田東小六年	松本 奈々
しだれうめにわいっぱいいい香り	堅下南小二年	佐藤 美妃	さつまいもおいしくなあれおまじない	芳養小一年	柴田 美奈
こんにはちよこんと出てくるつくしたち	近野小三年	金田 りく	おとうさんいっぱいくれたおとしたま	芳養小一年	中村 ゆうや
ふわわりたんぽぽのわた雲みたい	近野小三年	中峯 胡桃	桜さき春のゆうびんとどいたよ	芳養小二年	出口 莉心
すみれたちきれいにやさしくさいている	近野小三年	横矢 一慶	遠足でおいしいお弁当ありがとう	芳養小三年	川口 りな
食べたいな真っ赤でかわいいさくらんぼ	近野小四年	木幡 ゆみ	校庭にさくらがさいてうれしいな	芳養小三年	太地 れん
クロッカス地面の上に顔出した	近野小五年	狩野 紡	きれいだな色とりどりのチューリップ	芳養小五年	阪本 きい
雨ふつて紫陽花綺麗に光っている	田東小四年	尾崎 良輔	春キャベツとても甘くておいしいな	芳養小五年	東山 暖
まどのもとにわにまいちるはなふぶき	田東小四年	河本 和奏	クラスがえワクワクするな春の風	会津小五年	崎口 茉愛
赤とんぼ太陽に向かつてとんでいく	田東小四年	吉田 怜愛	ひらひらとおどっているよさくらたち	会津小五年	棒引 莉子
さくらの木出会いをいつも見守るよ	田東小五年	岩本 夢羽	サンタさんえんとつないよどうくるの	新二小四年	鍋島 汐喜
一歩ずつすすく育つ七五三	田東小五年	坂本 虹奏	卒業に思い出つまったランドセル	新二小六年	森山 莉乃
桜咲きこの一年のスタートだ	田東小五年	鈴木 亜月			

入選【中学生の部】中野 静子 選

入選【中学生の部】川口 修 選

夏休み楽しかったな短いな	秋津川中一年	上仲 心々南	台風が過ぎれば空は晴れもよう	衣笠中一年	井谷 紗良
赤トンボ夕日になじみ飛んでいる	衣笠中一年	植地 理久	散つていく桜を見ては思い出す	衣笠中一年	上野 愛夏
寒いなあおでんを食べてあたたまる	衣笠中一年	川寄 歩乃花	マスクつけ感染予防できるよね	衣笠中一年	川端 翔空
しゃぼん玉青空うつし消えてった	衣笠中一年	近藤 葵	寄せ鍋はぼかぼかするよあたたまる	衣笠中一年	阪本 蒼昊
雨あがり虹の階段のぼる鳥	衣笠中一年	松下 芭琉	桜見てふと思ひ出すあのころを	衣笠中一年	谷本 悠成
落ち葉降る季節の印きれいだな	衣笠中一年	山本 颯輝	シャボン玉プクプク上にとんでいく	衣笠中一年	田村 遼太
はながさく風にながれてきもちよい	新庄中一年	新井 聡真	冬眠かそんな季節になったのか	衣笠中一年	羽竹 希歩
妹の成長願う桃の花	新庄中一年	遠藤 夏嘉	かわいいなマスクはずすと別人だ	衣笠中一年	三木 李一
窓の外飛んでる桜みてる猫	新庄中一年	大江 沙耶	妹の成長願う桃の花	新庄中一年	遠藤 夏嘉
春風に背中おされてたすき継ぐ	新庄中一年	上舎 芽愛	蠟梅や鼻にふんわり部活中	新庄中二年	神崎 優奈
桜咲く気持ち新たに進む道	新庄中一年	水谷 友香	ふとんからもうでたくない朝が来た	新庄中二年	伏野 悠仁
桜の木見つめた空は晴れ渡り	新庄中二年	猪野 帆花	登下校前に進めず春風	新庄中二年	山本 蒼空
梅の花季節外れの暖かさ	新庄中二年	阪口 奨英	くもり空日差しさえぎる花曇り	新庄中二年	若勇 百香
起こされて言い訳探す春の朝	新庄中二年	橋本 澪奈	信念と責任持つて進級す	田辺中二年	堀木 朝日
三月の別れ見守る沈丁花	田辺中二年	前田 日菜子	週に二度鍋が登場冬が来た	田辺中二年	正垣 ひかり

入選【中学生の部】堀 あや子 選

しゃぼん玉青空うつし消えてった	衣笠中一年	近藤 葵
太陽がぴかぴか光る初日の出	衣笠中一年	阪本 蒼昊
たんぽぽのわたげ大空およいでる	衣笠中一年	須崎 光菜
落ち葉ふみ鳴るあの音が大好きだ	衣笠中一年	中嶋 彩華
妹の成長願う桃の花	新庄中一年	遠藤 夏嘉
窓の外飛んでる桜みてる猫	新庄中一年	大江 沙耶
春風に背中おされてたすき継ぐ	新庄中一年	上舎 芽愛
少しずつ町が色づく春の花	新庄中一年	水谷 友香
蠟梅や鼻にふんわり部活中	新庄中二年	神崎 優奈
春風が無防備な木に服着せる	新庄中二年	森本 優望
帰り道止まってふと見た朧月	田辺中二年	浅井 貴洋
春眠や目をふと開けてまた閉じる	田辺中二年	小野 真暉
飛び回る花粉でくしゃみ来たな春	田辺中二年	田中 葵
成長をみんなで祝おう七五三	田辺中二年	中田 陽菜
春の風新たな一歩踏み出そう	田辺中二年	横山 輝依

入選【中学生の部】宮内 信子 選

舞いあがる連れていってよシャボン玉	衣笠中一年	大谷 優芽
新学期桜まう道進んでく	衣笠中一年	檜木 心汰朗
いちりんのあかくかがやくひがんばな	衣笠中一年	小谷 啓斗
しゃぼん玉青空うつし消えてった	衣笠中一年	近藤 葵
落ち葉ふみ鳴るあの音が大好きだ	衣笠中一年	中嶋 彩華
赤とんぼ二ひきいつしよにとんでいく	衣笠中一年	堀口 光
こたつにね足を入れると猫がいる	新庄中一年	小川 恋春
春風に背中おされてたすき継ぐ	新庄中一年	上舎 芽愛
透明な如月の空がやわらかに	新庄中二年	楠本 望乃
梅の木にきれいな鳥がとまってる	新庄中二年	田中 瑠衣
舞い上がる梅の花びら雪のよう	新庄中二年	山本 結衣
成長をみんなで祝おう七五三	田辺中二年	中田 陽菜
信念と責任持つて進級す	田辺中二年	堀木 朝日
週に二度鍋が登場冬が来た	田辺中二年	正垣 ひかり
春の風新たな一歩踏み出そう	田辺中二年	横山 輝依